

播磨臨海道 区間絞り込み

国土省 優先整備、15年度にも

神戸市西区―兵庫県太子町間の約50キロを結ぶ「播磨臨海地域道路」計画で、国土交通省が

2015年度中にも優先整備区間を絞り込むことが23日、分かった。県や地元自治体は優先区間候補として、加古川市臨海部―区間A▽播但連絡道路との接続部―区間B▽姫路市臨海部―区間C―を要望している。

山陰近畿道

全線開通に向け
東京で推進大会

兵庫と京都、鳥取を結ぶ山陰近畿自動車道の全線開通に向け、3府県の首長や与党国会議員らが23日、東京・永田町の衆院議員会館で推進大会を開いた。

同自動車道は京都府

■播磨臨海地域道路のイメージ図



川市臨海部―区間A▽播但連絡道路との接続部―区間B▽姫路市臨海部―区間C―を要望している。

与党の兵庫県選出国會議員や地元首長が同日、太田昭宏国交相に、加古川バイパスや国道250号の慢性的な渋滞状況を訴えた。太田国交相も整備に理解を示したという。

国土省などによる

画段階評価に着手する。

石見利勝姫路市長は「ようやく一歩前進。優先区間の事業化が決まれば一気に進められるよう、地元の体制整備も加速したい」と述べた。(山本哲志)

宮津市―鳥取市の総延長約120キロ。兵庫県内は豊岡市北部から新温泉町の約46キロを結ぶ予定だが、現在は約13キロの開通にとどまる。

井戸敏三知事は「道路整備で人の生活や観光も変わる」として、特に久美浜(京都府)―豊岡北(延長約15キロ)の早期着工を訴えた。(小西博美)

ひょうご総合

